

傑作新聞

12月号

火曜日

発行所：マスターピース・グループ(株)
 発行者：人事総務部 佐藤 大輔
 連絡先：0120-814455

これもアウトソーシング!?

—海外OS最前線—

「インドから海外へ
 オンライン教育」

コールセンターからデータセンターまでさまざまなアウトソーシングを展開しているインドでは教育においてもアウトソーシングを行っている。

アメリカ、カルフォルニアにあるグロイーニング・スターズ社(Growering stars inc)はインドとアメリカをつなぐオンライン家庭教師をビジネスとしている。

通常アメリカ国内で家庭教師を雇うと1時間当たり80ドル〜125ドルかかるところを、インドにいる家庭教師を雇うことで18ドル〜20ドルにまで安くする。教えている科目も幅広く数学から生物、語学においてもスペイン語からマレーシア語までさまざま。グロイーニング・スターズ社では3年生から12年生までの生徒を対象としている。

しかし、オンラインで授業をするのは不便なことが多いのではないかと、と思われる方も多いのでは。ところが、グロイーニング・スターズ社ではオンライン授業を受けるにあたって、PCにタブレットを接続させ、講師、生徒両方が問題用紙に書き込めるようになっていて。そのため、オンラインだから使いづらいということはありません。

この教育のアウトソーシングはグロイーニング・スターズ社だけでなく、シカゴにあるスタディーフット社(Studyfoot)でも提供している。

スタディーフット社がグロイーニング・スターズ社と違っていている点は2点有る。スタディーフット社が対象としているのは大学生である事と、24時間、年中無休でサービスを提供している点だ。

24時間、年中無休の家庭教師サービスは多忙で急に助けが必要に

なった大学生にはもってこいのサービスなのかもしれない。生徒は自分の希望する時間に授業を予約し、個室で集中して授業を受けることが出来る。

国内で教育問題を解決できなくなったら他の国の優秀な人材に助けを求めるとも意外ながら良い案なのかもしれない。今までは国を超えて一緒に作業することが困難だったことも、技術の発達とともにさまざまなことが可能となっている。今後、教育以外にもどのようなアウトソーシングが展開されるか楽しみである。

■文責：09年新卒/尾立



記事元:

(http://www.b109.kpoweb.com/42/online-tutors-supplier-kochi/)



北京事情

極寒の中のぬくもり「暖気」

北京では今月はじめ1600万トンの大雪が降った。11月初旬だというのに、マイナス3度の寒波と共に、街が一面白色に染まったのだ。

この大雪は過去22年で最も早い初雪となったそうだが、実はこれ、北京市一帯の水不足解消のために降らせた人工降雪によるものだと報じられた。人工降雪とは大量の化学物質を上空の雲に散布し人工的に雪を降らせるといふものだが、これにより航空便200便が遅延、交通事故や停電が数十回発生するなど街中がパニックに陥り、市民から大クレームが起ったそうだが、これらのクレームの大多数はこの人工降雪が「最も寒い時期」に起こった出来事のためである。

北京の「最も寒い時期」はずばり11月前半と3月後半である。真冬、北京の屋外は実は意外にも暖かい。その理由は「暖気(マアンチー)」。暖気とは配管にお湯を通して部屋を暖め、暖かい空気を発生させる中国北方で実施されている暖房機で、北京では大体11月中旬から開始され3月中旬まで屋内を暖めてくれる。

11月中旬、冷たい手をこすりながら家に入ると、部屋がなんとなく暖かい。暖房をつけっぱなしだったかなと部屋を見回るとも違った。奇妙に思いながらも丁度寒くなってきたからラックキーという気持ちでその晩を過ごした。その翌日も、そのまた翌日も、部屋は暖かくなり続け、最終的には家に帰ると暑くて半そでになってしまふほどになった。日に日に暖かくなる部屋にさすがに恐怖を覚え会社の同僚に尋ねて初めて「暖気」の存在を知った。

その時から、すっかり「暖気」の温もりに魅了されてしまった。外気は真冬になるとマイナス10度以下になることもあるため、外に出ると刺すような痛みを感じるのだが、ひとたび屋内に入るとやんわりと温かい癒しの空気に包まれる。

そんな暖かい住みか慣れちゃった体は、たまに日本に一時帰国しても一日中コタツの中から抜け出せない体質になり、せつかくの休日も寝て過すのがお決まりになってしまった。冬の北京は寒くて嫌だと思っ

文責:北京センター/曲田

マスターピースのお仕事紹介

■オンライン外国語レッスン
今号の海外アウトソーシング事情でインドからの通信教育を紹介しましたが、弊社でも、中国から日本への中国語オンラインレッスン、タイから日本への英語オンラインレッスンを教育関連企業様からのアウトソーシングとして行っています。中国語レッスンは、もととは弊社大連センターで社員向けにスタートした中国語レッスンを提携先の教育関連企業様のサロニスとして新たに資源化したもので、日本で中国人講師を雇うよりも人件費を抑えて質の高いレッスンを提供することに成功しました。

一方、タイからのレッスンのほうは、非英語圏のタイから英語!?!と思われるかもしれませんが、首都バンコクにはタイの生活のしやすさに惹かれて、世界中から長期滞在者が集まっています。地球の裏側から来たアメリカ人、カナダ人、オーストラリア人など、英語のネイティブスピーカーには困りません。その中から、言語教育に秀でた方を講師として採用し、日本の教育関連企業様向けにサロニスを提供しています。また、夜間の時差は重要で、中国語は日本時間23時まで、英語は日本時間24時までレッスンをやっているのも特長です。

文責:コンタクトセンター 事業部

中国アウトソーシング事情

中国国内発!MPGが中国のアウトソーシング関連NEWSを毎日発信しています!

《11月の主なNEWS》

- 2009/11/17 中国サービスアウトソーシング産業業績の目ざましい発展
- 2009/11/19 中国サービスアウトソーシング産業の発展が加速

●中国アウトソーシング事情(<http://www.m-piece.com.cn/>)

編集後記

発行担当佐藤です。いつも愛読いただき誠にありがとうございます。いよいよ12月に突入しました。この時期の北京・大連とバンコクの平均気温はなんと約30度差!これらの拠点間の出張は本当に大変です。寒さにも暑さにも驚かされます。さて、いよいよ冬本番。皆様お風邪などひかれぬよう、ご自愛くださいませ。